



今月のテーマ：地域連携室ってどんなところ？

地域連携室は『患者様を中心に自院と他院・他施設をつなぐ部署』です。患者様がスムーズに医療機関へ受診・入退院等ができるように、医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの機関をつなぐ役割を担います。

当院は、自治体病院として、地域医療に貢献することを目的とし、地域連携室を平成 28 年に設置しました。現在は、相談員 1 名・リエゾン看護師 1 名の 2 名体制で業務に務めています。

業務内容

- ・医療連携、継続診療（紹介・逆紹介）患者情報の提供や共有
- ・退院調整、退院支援
- ・医療福祉相談（個別の相談に応じた問題解決の調整支援）
- ・地域との関わりに関する業務（地域ケア会議などへの出席、地域の情報収集）



当院を受診される患者様の多くは高齢で身体機能の低下や認知機能の低下など様々な困難さを抱える患者様が多くいらっしゃいます。

そのような患者様の日常の変化を医師や看護師、リハビリスタッフ等と連携を取り、患者様が住み慣れた地域や自宅で安心して暮らし続けることができるように自治体や地域包括支援センター、社会福祉協議会、民生委員、施設など必要な機関とも連携を取りながら、患者様の状況に応じたサービスを受けられるように調整支援を行なっています。

また、地域連携室では入院時から退院後の生活を見据えて、院内の多職種スタッフや地域の関係機関（ケアマネジャーや地域包括支援センター等）とも連携を図りながら、退院後も患者様やご家族様が安心して安全な生活を送れるようお手伝いをさせて頂いています。

これからも患者様とご家族様の思いに寄り添った支援を心がけています。



文：肝付町立病院 地域連携室 相談員 平野

お問い合わせ先 肝付町立病院 ☎ 0994(67)2721

消費生活相談

いつの間にか高額に…占いサイトに気をつけて！



相談事例

スマホのゲーム中に「宝くじに当選するよう導いていく」という広告が出て、アクセスすると占いサイトだった。老後の生活や家族のことを考え、「宝くじに当たるなら」と思った。

送信 1 回につき 1,500 円かかるが、指示通りに、一文字ずつ何回も送った。足の具合が悪くて友人に会えない寂しさもあり、楽しかった。「もう少しで当たる」や「運気が上がる」という言葉を信じ、コンビニ決済やクレジットカードなどで、約 400 万円支払ってしまった。



●一言助言●

占いサイトの中には、「もう少しで宝くじの当選番号を教える」などと言われてやりとりの期間を引き伸ばされたり、言葉巧みに引き止められたりして、いつの間にか高額な費用となるケースがみられます。相手の言葉をうのみにせず、冷静になりましょう。やりとりの内容は、トラブルになったときのための証拠になります。占いサイトを退会すると、今までのメッセージのやりとりを確認できなくなる可能性がありますので、スクリーンショット等で残しておきましょう。

■ お金を支払ってしまっても取り戻せる場合があります。

困ったな、おかしいなと思った時はお早めにご相談ください。

消費生活相談窓口（鹿屋市消費生活センター）☎ 0994(31)1169 消費者ホットライン☎ 1 8 8

